参考資料２－４

**大阪府マーケティング・リサーチ「おおさかQネット」**

**１．調査の背景と目的**

・2019年に開催されたG20大阪サミットでは、2050年までに海洋プラスチックごみによる新たな汚染をゼロにする「大阪ブルー・オーシャン・ビジョン」が共有。

・府においては、2019年１月に「おおさかプラスチックごみゼロ宣言」を大阪市と共同で実施し、プラスチックごみの削減を推進する必要がある。

・一方、新型コロナウイルス感染症の拡大や、本年７月に開始されたレジ袋有料化などにより、マイボトルやマイバッグに対する府民の意識やニーズは大きく変化。

・今後、府民ニーズを把握した上で、マイボトルやマイバッグの利用を促進する効果的な施策を実施し、使い捨てプラスチックの３Rをさらに推進するため、本調査を実施。

**２　調査対象**

大阪府在住の18～90歳までの男女、

各世代（18～29歳、30代、40代、50代、60代以上）200サンプル（男女均等割）、

計1,000サンプル

**３　質問内容**

**≪海洋プラスチックごみ問題への認知度・意識≫**

Q１　「大阪ブルー・オーシャン・ビジョン」（内容）の認知度

Q２　海のプラスチックごみの原因に関する府民の意識

Q３　プラスチックごみのさらなる削減に対する府民の意識

**≪マイボトルの利用に関する意識≫**

Q４　マイボトルを使っているか

Q５　マイボトルに飲料を補充できる施設・サービスが外出先の近くにあるか

Q６　マイボトルに飲料を補充できる施設・サービスに関する情報を見たことがあるか

Q７　【マイボトルを使っている人】外出先で、マイボトルに飲料を補充したことがあるか

Q８　【補充したことがある人】飲料を補充するとき重要視することは何か

Q９　【補充したことがない人】その理由

**４　調査時期**

令和２年８月